

みなさんからの請願・陳情

3月定例会で受理したのは、陳情1件でした。所管の委員会に付託しましたが、震災により審査ができなくなり、継続審査となりました。

また、継続審査中の「道の駅設置に関する請願書」も同じく継続審査となりました。

採決の結果	請 願 件 名	請 願 者
継続審査	道の駅設置に関する請願書	道の駅促進期成同盟会 会長 佐藤 好孝 外30名

採決の結果	陳 情 件 名	陳 情 者
継続審査	別名に化けた外国人参政権への警戒を求める陳情	星野 節子

議会一口メモ

激甚災害とは

東日本大震災の被害について、激甚災害に指定する政令が3月12日、閣議決定しました。併せて、この大震災に対して「適用すべき措置」を指定することにより、福島県を含めた自治体に対し、災害復旧事業に対する国庫補助のかさ上げなど、特別な財政援助が実施されます。①公共土木施設、社会福祉施設、公立学校施設等の災害復旧事業等について国庫補助のかさ上げ。②農地、農道や水路など、林道の災害復旧事業等について国庫補助のかさ上げ。③中小企業信用保険法による災害関係保証の特例。

被災市町村の財政負担が、大幅に軽減されます。

建設中の保原小学校 震災の影響を調査

4月20日、文教福祉常任委員会と建設水道常任委員会は合同で、建設中の保原小学校の震災による影響を調査しました。

ふくしま市町村建設支援機構の寺島建築課長から説明を受けた後、震災のときに揺らされた講堂、校舎部分のコンクリートの状態を視察しました。コンクリート表面に「ヘアークラック」と呼ばれる微細なひびが7～8か所確認されましたが、構造上大きな欠陥となる「構造クラック」は確認されませんでした。

今後、加重がかかることを考慮し、ヘアークラックには樹脂注入（接着剤）で対応、補修をするとのことです。念のため揺られた校舎本体から、一部テストピースコンクリートを取り出して、強度等の検査を実施する予定です。



編集後記

去る3月11日に発生した東日本大震災により伊達市における被害はもとより、福島県内において未曾有の被害が発生しました。特に浜通りにおいては大地震後の大津波による被害に加え、福島第一原子力発電所の事故のため、本市にも相双地域から避難をされ不自由な生活を余儀なくされています。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表し、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

今後、私たちは風評被害という大きな敵と戦っていかねばなりません。「明けな夜はない」「やまない雨はない」「冬は必ず春となる」ということを信じて、私たちも市民の皆様と手を携えて、未来に向かって進んでまいりたいと存じます。

議会広報委員会

委員長 佐藤 実
委員長 佐々木 彰
委員 中村 正明
委員 大村 一郎
委員 佐藤 直毅
委員 菅野 喜明